

2018年1月1日

第103号

発行：日本臨床検査技師連盟
 発行責任者：梶山 広美
 編集担当者：中井 規隆

日本臨床検査技師連盟ニュース

◆◆連盟ニュース◆◆

今号の主な内容

- ◇ 年頭のご挨拶
- ◇ 支部だより

新年を迎えて

～ 成年 ～

謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。

平成30年成年を迎え、本年が皆様にとって幸多く、実り豊かな一年となることを心よりお祈りいたします。

去年は、「医療法等の一部を改正する法律」が6月7日参議院本会議で採決、可決成立しました。法改正により厚労省では検体検査精度管理の議論も始まり今年の12月ごろには法律、省令施行となります。大きな飛躍の年になりました。そして、今年は診療報酬改定と介護報酬改定との同時改定があります。国は、団塊の世代が75歳以上になる2025年に向けて、「効率的かつ質の高い医療提供体制の構築」と「地域包括支援システムの構築」が急務の課題として、医療から介護への医療体制の変革を図ろうとしています。日臨技では、法改正そして国の動向をもとに、日臨技臨床検査精度保証の見直しが始まり、そして現在チーム医療実践に向けた事業が展開されています。

このような情勢の中、日技連は日臨技と表裏一体で活動を推進していますが、現状において組織の強化はまだまだ進んでおりません。去年は目標口数を8,000とし各支部において支部学会や研修会など行事のたびに勧誘をお願いしてきました。しかし、目標の達成はできず約半数の入会に留まり、連盟の必要性がまだまだ浸透していません。医療制度の改革や改善を図るためには日臨技会員一人一人が臨床検査技師の将来を考え、連盟への理解を深め物心ともに協力いただくことです。先にも述べましたが、まずは日技連の会員を増やすことから始まります。数が力になるからです。平成30年の基本施策は、去年に引き続き会員獲得による組織強化拡大・財政基盤の強化となります。臨床検査技師組織代表の国政活動支援も重要な事業の1つになり、来年夏の参議院議員選挙に向けても準備が始まります。



毎年正月になると「一年の計は元旦にあり」という言葉を見聞きしますが、一年間の目標や計画は、元旦に決めるのが良いということや、何事も最初に計画や準備が大切であり、初めの計画ができていないと物事はうまくいかないという意味があります。この言葉のように去年の活動と結果を振り返り、最初の計画や準備が必要であることを深く受け止め今年の活動を始めたいと思います。

今年1年皆様には多大なるご協力をお願いすると思いますが、一人でも多くの会員が増え、一致団結して強固な組織づくりができることを願っております。今年もよろしく願い申し上げます。

日本臨床検査技師連盟 代表 梶山広美

支部だより

福井県支部活動報告

宮島参議院議員来訪(12月19日～20日)

福井県挨拶廻り(12月19日～20日)

宮島会長は前日12月18日の夜に東京から米原周りで福井入りされており、12月19日はホテルへと向かえに上がりました。当日の福井は波浪警報が出ており時折の激しい雨で傘が手放せない状態でしたが午前中は予定通り11の間屋等を廻り、そのまま福井県の北部へと移動しました。



昼食は三国港近くで海の幸たっぷりの海鮮丼を召し上がって頂きましたが、荒波の越前海岸を見て「福井の空は暗いな・・・」とボツリ、そう言えば選挙前の来福時も雨と雪の日でした。

ますます激しくなる雨の中、3病院を廻り高速道路で嶺北地域では最南端の越前市に入り、国道を北上をしながら4病院を訪問、国政報告会へとほぼ計画通りの日程で1日目の挨拶廻りは終了しました。



国政報告会は急な訪問で講演場所が決まらず時間が無い中メールだけでの案内でしたが技師会、日衛協・臨薬協・卸連合会等から多数の参加があり大盛況のうち終了しました。



12月20日は嶺南地域へと福井市から敦賀市に移動。昼からは滋賀県への移動があるため敦賀市内3病院を訪問し福井県での挨拶廻りは終了しました。訪問先や国政報告会での会長は、今後の臨床検査領域での政治連盟の必要性をエネルギーに語り、連盟への加入を一人一人と握手する手に込めていることを感じました。今回の訪問により、一人でも多くの連盟への加入をお願いしたいと思います。今回施設訪問に際し、ご尽力を頂きました訪問施設の皆様、移動車の提供と運転をして頂きました日研医学様にこの場をかりまして御礼申し上げます。

福井県 加藤幸久



滋賀県支部活動報告

宮島参議院議員来訪(12月20日～21日)



高島市民病院



近畿予防医学研究所



JCHO 滋賀病院



滋賀医大



アルプレス滋賀営業所



増田医科器械

宮島喜文参議院議員(日本臨床衛生検査技師会会長)が天気快晴、琵琶湖面の輝く滋賀安曇川の地へ平成29年12月20日午後に降り立ち、21日午前中までと滞在時間が限られた中、病院6カ所、衛生検査所2カ所、医療機器会社、試薬卸会社や滋賀県選出の議員事務所の各1カ所を訪問し、国政報告や技師連盟の現状を伝えていただいた。また、20日19時から草津市民交流センターにおいて会員が集り、国政報告会が開催された。報告会后、会場を変え20時より宮島議員を囲み懇親会も開催した。宮島議員が各施設訪問時には、各施設の職員皆が温かく迎えていただき、宮島議員と直接対話・握手と緊密に接し、記念すべき日になったことと感じられた。臨床検査技師の今後の活動において国政への働きかけは大事であり、そのためには多くの方々の政治連盟への加入、協力が不可欠と考えられる。改めて会員の多くの方々の技師連盟入会をお願いしたい。今回の施設訪問に際し、ご尽力をいただきました訪問施設の皆様、移動車を提供いただきました。(一社)日本衛生検査所協会近畿支部長 広田周一様、ご同行いただきました近畿予防医学研究所職員の皆様、日本臨床検査技師連盟滋賀県支部の皆様にはこの場をかりて御礼申し上げます。

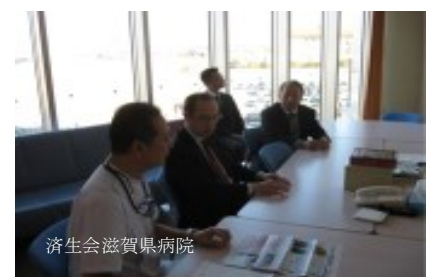
滋賀県 岩井宗男



守山市民病院



メディック



済生会滋賀県病院



近江八幡市立総合医療センター



国政報告会



会費を自動引き落としとして 継続登録されている皆様へ

連盟加入数はまだまだ目標8000名に足りていません。既に参加者の皆様でもお知り合いの方をお誘いいただくと幸いです。是非ご協力ください

連盟会費を口座引落しの 登録をいただいている会員の方

・平成30年会費は、ご登録の口座から **平成30年2月27日（火）**にご登録の口数の連盟会費が各技師会費と合算した額が引き落とされます。

・前日迄に登録口座の残高をご確認いただきご準備くださいますようお願いいたします。

引落口数の変更を希望される方 および退会をされる方

・引落口数の変更をご希望の場合には、**平成30年1月10日までに以下eメールにてご連絡ください**。10日を過ぎての申し出された場合は、変更前の口数の金額が引落されますのでご注意ください。また、**原則会費の返金はいたしませんので、ご注意ください**。

・退会をご希望の方につきましても同様に**退会の意思をeメールにてご連絡ください**。期日を過ぎてからのご連絡につきましては、登録口数の金額を引落しされ、その後のご返金はいたしませんのでご注意ください。

メールアドレス：nichigiren@jamt.or.jp

・日本臨床衛生検査技師会の退会手続きを1月30日までに完了された方は、連盟会費も同様に引落はされません。引き続き連盟会費を納入希望の方は、最寄りの郵便局で配布されている「払込取り扱い票」を使用して次の振替口座へご入金のお手続きをお願いします。

「払込取り扱い票」を使用して振替口座へ入金される方

振替口座：00130-1-79120

口座名義：日本臨床検査技師連盟

※通信欄：日臨技会員番号 氏名

※払込人欄：氏名、住所、電話番号を記載してください。

なお、この「払込取り扱い票」は当連盟ホームページでもダウンロードが可能です。



12月29日現在

連盟都道府県名	口数合計
北海道	89
青森県	96
岩手県	7
宮城県	20
秋田県	130
山形県	24
福島県	141
新潟県	29
茨城県	154
栃木県	106
群馬県	157
埼玉県	135
山梨県	64
長野県	60
千葉県	86
東京都	67
神奈川県	73
富山県	4
石川県	113
岐阜県	46
静岡県	395
愛知県	261
三重県	112
福井県	15
滋賀県	22
京都府	27
大阪府	84
兵庫県	31
奈良県	101
和歌山県	158
鳥取県	54
島根県	81
岡山県	127
広島県	70
山口県	144
徳島県	10
香川県	121
愛媛県	20
高知県	4
福岡県	190
佐賀県	33
長崎県	260
熊本県	204
大分県	63
宮崎県	69
鹿児島県	97
沖縄県	95
日臨技	31
合計	4,480